

ハッスルプレーに歓声沸く

高崎町どろんこボール祭

地域の活性化と五穀豊穡を祈願する高崎町どろんこボール祭が6月22日、高崎小学校南側の水田で開催されました。市内外から36チーム、約230人が出場。趣向を凝らしたコスチュームに身を包んだ選手らが、ボールを追い掛け、田んぼに飛び込むたびに観客から歓声が沸いていました。昨年に続き参加した瀬治山裕美さん（佐賀県小城市）は「泥に足を取られて大変でしたが、優勝できました。大好きな焼酎をもらったので打ち上げが楽しみです」と友人らと過ごす休日を楽しんでいました。



野球の楽しさ知って

キッズベースボールin高城

子どもたちに、野球の魅力や体を動かす楽しさを知ってもらうと、野球教室「キッズベースボールin高城」が6月28日、高城運動公園野球場で行われました。市内の幼児から小学3年生までの約30人が参加。投球の動作を中心にした体の使い方や、運動時の水分補給の重要性などの指導を受けました。幾田貴大くん（高城小3年）は、「ノックした球を捕球する練習が楽しかった。投球や捕球のコツをたくさん教わったので、明日からの練習に生かしたいです」と汗を流していました。



にぎわい戻ったまちを懐かしむ

みやこんじょ七夕まつり

みやこんじょ七夕まつりが、7月4日〜6日、中心市街地周辺で開催されました。七夕まつりと各通り会との共催で行われた同イベントに多くの家族連れが来場。期間中は、子どもらの願い事を書いた短冊を結び付けた七夕飾りが会場を華やかに彩り、ステージイベントや通り会対抗のグループラリーなどが行われました。家族と訪れていた森山紀代美さん（梅北町）は「まちなかがにぎわっていた頃の七夕まつりを思い出しました。今日は、子どもと一緒に楽しめました」と笑顔で話していました。



まちなか活性化に向けて知恵出し合う

中心市街地子育て施設整備支援市民ワークショップ

「こんな施設になったらいいな」をテーマに、都城大丸跡地周辺を中心市街地活性化を市民の目線で検討する市民ワークショップが6月28日、ウエルネス交流プラザで開催されました。地域住民ら約70人が参加。担当者から中心市街地の歴史や現状、課題などの説明を受けた後、グループに分かれて「訪れたいと思うまちなかの姿」などについて検討しました。水間慶子さん（上町）は「私の住むまちなことだと思いましたが、いろいろな世代の人たちの意見が参考になった」と成果を確かめていました。



メダカが泳ぐ地域の触れ合いの場 メダカの学校放流会

NPO法人都城メダカの学校によるメダカの放流が6月14日、万ヶ塚駅周辺で行われました。同法人の会員や万ヶ塚保育園の園児、地域住民ら約1000人が参加。園児らは、放流に合わせて整備された山田さらら池に、会員が育てたクロメダカ約3,000匹を放流しました。クロメダカは、絶滅が心配されている貴重な生き物。永田勇作校長は「メダカが住みやすい環境を維持することはもちろん、整備した水辺の環境を、地域の触れ合いの場に育てていきたい」と意気込みを話していました。



都城について理解を深める 都城市民大学講座

50周年を迎えた都城市民大学講座の開講式が7月1日、中央公民館で開催されました。第1回目は、池田市長が「笑顔あふれるまち、都城を目指して」と題し、市政について講演。約1000人の市民が市政運営について学びました。津曲光子さん（早鈴町）は、「市政や地域社会とのつながりを持ちたい」と思い参加しました。今回は池田市長の話を直接聞くことができ、良い機会になりました」と、学びを深めていました。市民大学講座は、9月30日まで全12回にわたって開催されます。



子どもたちの熱き戦い ジュニアトライアスロン

水泳や自転車、長距離走の3種目で順位を競う、第8回きりしまんちだジュニアトライアスロン大会が7月6日、観音池公園で開催されました。小・中学生の個人部とリレーの部、家族でタスキをつなぐ家族リレーの部に、県内外から約240人が参加。参加者らは、沿道からの声援を背に、順位を競い合いました。中学生の部で優勝した池田達郎さん（宮崎高附属中2年）は、「自転車のコースが難しかったです。去年は2位だったので1位になってうれしい」と笑顔で汗を拭っていました。



熱気あふれる夏の始まり おかげ祭り

都城に夏の到来を告げるおかげ祭りが、7月8日に開催されました。その日の法被はっぴに身を包んだ既婚者かこんごと呼ばれる踊り手らが、大灯籠おとこ・山車などと共に、八坂神社から神社宮までを練り歩きました。沿道に詰めかけた人たちは、笛や太鼓の音色に合わせて手拍子を打ち、祭りを楽しんでいました。9日の本祭りは荒天のため中止となりましたが、実行委員長の山路修おさむらさんは「多くの人の励ましの言葉に感謝している。来年は一回り成長した祭りをみせたい」と決意を新たにしていました。





人の風景

smiling faces of miyakonojo

心に響く伝統と進化する音色

津軽三味線石井流家元

石井 秀弦^{しゅうげん}さん

石井さんは、民謡や詩吟など文化芸能に造詣の深い父親の和郎さんの誘いで、16歳の時に津軽三味線に出会いました。初めて津軽三味線の生音を耳にしたとき、リズムミカルで迫力のある演奏に衝撃を受け、情熱的な津軽三味線の魅力に引き込まれた石井さん。宮崎での修業を経て、1992年に流派を創立。その後、10年ほど東京の津軽民謡の先生の下に毎月通つて

露したいと考えていた。演奏したみんなと喜びを分かち合うことができ、個人での優勝とは違った感動があった」と大会を振り返ります。

石井さんは、民謡や詩吟など文化芸能に造詣の深い父親の和郎さんの誘いで、16歳の時に津軽三味線に出会いました。初めて津軽三味線の生音を耳にしたとき、リズムミカルで迫力のある演奏に衝撃を受け、情熱的な津軽三味線の魅力に引き込まれた石井さん。宮崎での修業を経て、1992年に流派を創立。その後、10年ほど東京の津軽民謡の先生の下に毎月通つて

津 軽三味線発祥の地である青森県、五所川原市で5月に開催された、第26回津軽三味線全日本金木大会で、石井秀弦さん(安久町)が家元を務める津軽三味線石井流が、見事団体の部で優勝を果たしました。

石井さんは県内外の門下生5人と一緒に、6〜10人の少人数で演奏する団体の部に出場し、独自に編曲した「津軽じょんがら節曲弾き」を演奏。その技術の高さと曲本来の味わいを生かした編曲が評価され、16年ぶり、2回目の栄冠に輝きました。「今回演奏した曲は5年ほど前に編曲し、いつか披露したいと考えていた。演奏したみんなと喜びを分かち合うことができ、個人での優勝とは違った感動があった」と大会を振り返ります。

定期的な演奏会を開く一方で、6月には、長年の夢であった九州大会を本市で開催。九州各県から流派を超えた多くの演奏家が集まり、大会を盛り上げました。

今後も、津軽三味線の魅力を発信していきたいと話す石井さん。「津軽三味線本来の良さを伝えながら、若い世代にも興味を持ってもらえるように音を進化させた」と思いを話していました。

指導を受け、全国大会で優勝するまでになりました。

以来、津軽三味線の魅力を広く伝えるため、稽古に励む傍ら、尺八や琴などの和楽器をはじめ、ギターやドラムとの共演など、幅広く積極的に活動しています。



霧島七景



■矢岳高原から見る霧島連山

「矢岳高原から見る霧島連山が絶景」と話すのは、地域おこし協力隊の廣澤順也さんです。地域おこし協力隊は、都部部から山間部などに移り住み、課題解決に向けた手助けを行っています。廣澤さんは、プロのネイチャーカメラマン。約1年前に、神奈川県からえびの市に移住し、地域おこしに尽力する一方で、写真を通してえびの市の魅力を発信しています。



「えびの市内で、いろいろな風景写真を撮っています。特に矢岳高原の景色は、季節や時間帯によって変化する様子が、はつきりしていて撮り

がいがあります」と話す廣澤さん。夜明けから日の出にかけての景色は特に気に入っていて、空が夜明けの深い青色から、太陽の光でオレンジ色に徐々に変わる頃、霧島連山に光が当たり、はつきりと見えてくる様子は、言葉では言い表せないと言います。

■えびのの魅力を発信

えびの市では、廣澤さんの撮影した写真を多くの人に見てもらい、活用してもらうためのサイト「EbiNoColors（えびのカラーズ）」を開設しました。

この美しい景色を、皆さんもぜひ一度見てください。

■ホームページアドレス

<http://www.city.ebino.lg.jp/ebinocolors>



◎問い合わせ

えびの市企画課

☎0984-135-1111

※環霧島園地のイベント情報を、市ホームページで紹介しています



盆地生まれの元氣をいただきます

1日の野菜摂取量は350g

夏野菜トマトのあっさりゼリー（10人分）

※1人分120kcal、塩分0g

トマトやレモンに含まれるビタミンAやビタミンCは、細胞の老化原因となる活性酸素の除去や免疫力の向上に作用します。また、ストレスを和らげ、夏バテ予防に効果的です。

ちょっとひと工夫

シロップの代わりに炭酸水を使うと、よりさわやかな味わいになります。また、好みのフルーツを使っても、彩りや食感などが楽しめます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765



【トマトゼリー】

トマト…2個 レモン汁…小さじ1 粉寒天…4g
水…250cc 砂糖…30g

【牛乳ゼリー】

牛乳…300cc 粉寒天…4g 水…200cc 砂糖…30g

【シロップ】 水…200cc 砂糖…120g レモン汁…1個分
ミカン（缶）…1缶 バナナ…2本

●作り方

【トマトゼリー】

- ①トマトは皮をむきミキサーにかけ、ピューレ状にしてレモン汁を加えて混ぜる
- ②鍋に寒天と水、砂糖を入れ煮沸かし、かき混ぜながら2分程度沸騰させる
- ③②に①を加えて混ぜ、器に入れて冷やし固める

【牛乳ゼリー】

- ①鍋に寒天と水、砂糖を入れて煮沸かし、牛乳を混ぜる
- ②器に①を入れ、冷やし固める

【シロップ】

- ①鍋に水と砂糖を入れ煮沸かし、冷めたらレモン汁を加える
- 【仕上げ】ゼリーとミカン、バナナを好みの大きさに切り、シロップと合わせて冷やし、器に盛り付ける